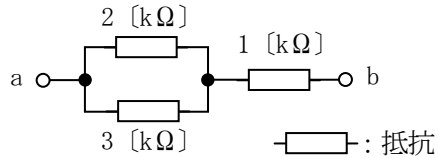


第二級陸上特殊無線技士試験問題

無線工学

- [13] 図に示す回路の端子 ab 間の合成抵抗の値として、正しいのは次のうちどれか。



1. 2.2 [kΩ]
2. 3.5 [kΩ]
3. 6 [kΩ]
4. 7 [kΩ]

- [16] 次の記述は、超短波(VHF)帯の電波の伝わり方について述べたものである。誤っているのはどれか。

1. 光に似た性質で、直進する。
2. 通常、電離層を突き抜けてしまう。
3. 見通し距離内の通信に適する。
4. 伝搬途中の地形や建物の影響を受けない。

- [14] 次のダイオードのうち、光を感知して動作するのはどれか。

1. 発光ダイオード
2. ツェナーダイオード
3. バラクタダイオード
4. ホトダイオード

- [17] 端子電圧 6 [V]、容量 30 [Ah] の充電ずみの電池を 2 個並列に接続し、これに電流が 6 [A] 流れる負荷を接続して使用したとき、この電池は通常何時間まで連続して使用することができるか。

1. 2.5 時間
2. 5 時間
3. 10 時間
4. 20 時間

- [15] 150 [MHz] 用ブラウンアンテナの放射素子の長さは、ほぼいくらか。

1. 2.5 [m]
2. 1.2 [m]
3. 0.5 [m]
4. 0.3 [m]

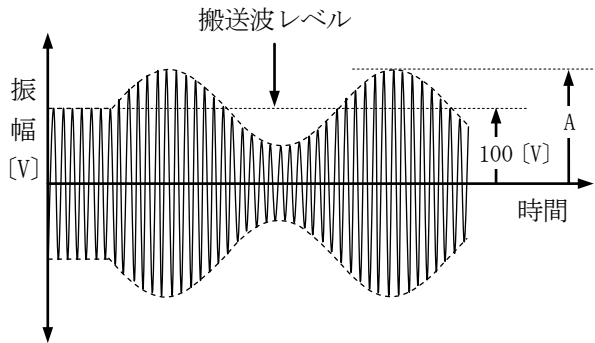
- [18] 一般に使用されているアナログ方式の回路計(テスタ)で、直接測定できないのは、次のうちどれか。

1. 交流電圧
2. 高周波電流
3. 直流電流
4. 抵抗

第二級陸上特殊無線技士試験問題

無線工学

- [19] 図は、振幅が 100 [V] の搬送波を単一正弦波で振幅変調したときの変調波の波形である。変調度が 50 [%] のとき、振幅の最大値 A の値は幾らか。



1. 100 [V]
 2. 120 [V]
 3. 150 [V]
 4. 200 [V]
- [20] FM (F3E) 受信機において、受信電波の無いときに、スピーカから出る大きな雑音を消すために用いる回路はどれか。

1. AGC 回路
2. スケルチ回路
3. 振幅制限回路
4. 周波数弁別回路

- [21] 次の記述は、FM (F3E) 送信機を構成しているある回路について述べたものである。正しいのはどれか。

この回路は、過大な変調入力(音声信号)があっても、周波数偏移を一定に抑えるため、周波数変調器の入力側に設けられる。

1. AGC 回路
2. IDC 回路
3. スケルチ回路
4. 周波数弁別器

- [22] レーダーから等距離にあって、近接した 2 物標を区別できる限界の能力を表すものはどれか。

1. 最小探知距離
2. 最大探知距離
3. 距離分解能
4. 方位分解能

- [23] 次の記述は、静止衛星通信における VSAT システムについて述べたものである。正しいのはどれか。

1. このシステムは、VSAT 地球局相互間で音声、データ、映像などの通信を行う。
2. 使用される衛星はインマルサット衛星である。
3. VSAT 地球局は小形軽量の装置で、車両で走行中の通信に使用される。
4. 使用される周波数帯は 1.5 [GHz] 帯と 1.6 [GHz] 帯である。

- [24] FM (F3E) 送受信装置の送受信操作で、誤っているのは次のうちどれか。

1. 他局が通話中のとき、プレストークボタンを押し送信割り込みをしてはならない。
2. 制御器を使用する場合、切替えスイッチは、「遠操」にしておく。
3. スケルチ調整つまみは、雑音を消すためのもので、いっぱいに戻しておく。
4. 音量調整つまみは、最も聞き易い音量に調節する。